

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	専門学校 新国際福祉カレッジ
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
社会福祉専門課程	介護福祉学科 現場実践コース(2年制)	夜・通信	180時間	80×2=160時間	
	介護福祉学科 社会福祉主事併修コース(2年制)	夜・通信	180時間	80×2=160時間	
		夜・通信			
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

当校の所在地(千葉県四街道市山梨 1316-1)事務局にて開講授業科目一覧表を公開。開講授業科目一覧表の中で、教員の実務経験に関する説明とチェック欄あり。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名 なし
(困難である理由)

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	専門学校 新国際福祉カレッジ
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>【授業計画の作成について】 授業計画および各授業科目の作成は、次年度のカリキュラム策定からの経始である。 教育課程については、社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則および社会福祉主事養成機関等指定規則ならびに学則およびに基づく設定を行い、併せて学生授業アンケート、講師ヒアリングの結果、さらには業界ならびに地域社会の職業人に対するニーズを適宜盛り込み、カリキュラムポリシーを考証のうえ毎年の調整を行っている。 各授業科目については、社会福祉士介護福祉士養成施設指定規則および社会福祉主事養成機関等指定規則に規定される各科目の目標及び内容に沿って、本校の状況を踏まえたうえで講義内容・形式について検証、学内会議において全体の調整を行っている。その後、各授業科目の担当講師により具体的な授業内容が作成される。 各授業科目の担当講師には、学内統一様式でのシラバスの作成と提出を義務付けている。シラバスには「授業科目名」、「授業方法」、「到達目標」、「授業内容」、「評価方法」、「授業計画」、「教科書」の記載項目があり、全科目共通で記載することを必須としている。提出されたシラバスは学内データベースに格納し、一元的に管理している。</p> <p>【公表について】 翌年度の授業計画の作成については、12月から着手し、年度最終成績、就職実績、学生アンケートの反映を併せて3月まで調整を行う。3月の学内年度末会議にて授業計画が正式決定となる。学生には4月オリエンテーションにて授業計画を公表・配布する。授業シラバスについては各授業内で授業計画としての説明に用いるとともに、学内データベースに一元管理を行い、必要性に応じて参照に対応している。 学外に対する情報公開については、ホームページにて学内事務局に履修要綱(シラバス)閲覧用冊子の常設の旨と閲覧の手続きを明記し、これを一般に公開している。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>履修要綱(シラバス)を閲覧用冊子として学内事務局に常設。 閲覧の手続きについては印刷物を学生に配布。 ホームページにて、閲覧用冊子の常設の旨と閲覧の手続きを公開している。 https://kokufuku.ac.jp</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	

<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>学修意欲の把握については、定期的に学生アンケートを実施し、自身が受講している授業科目について、授業の進め方や評価方法に関し適切であるか否かを含めた意見を集計している。</p> <p>学内規則の細目にて、学内の成績評価、履修授業数、卒業要件について規定している。</p> <p>成績評価については、各学科で定める授業科目の考查の結果に基づき行われるものである。</p> <p>【成績の評価】</p> <p>成績評価は教科ごとに考查試験が行われる。試験点のほか、出席状況、授業中の課題・小テストの評価等、また受講態度などを加味して評価する。</p> <p>【卒業判定】</p> <p>卒業年度末に、教育内容の学習成果を測定するために卒業試験を実施し、卒業判定を実施する。</p> <p>【卒業要件】</p> <p>卒業には、次の条件を全て満たすことが必要です。</p> <p>①成績評価及び卒業試験の成績に基づいて、課程修了の認定を得た者</p> <p>②所定の修業年限以上在学し、課程修了を認められた者</p> <p>③職業人として社会での役割を果たせる能力・人間的特性をもっていること</p> <p>④所定の学費を完納していること</p>																									
<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p>																									
<p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>【成績評価について】</p> <p>学業成績は各学科で定める授業科目の考查結果によって評価される。成績は以下の基準により四段階に区分される。</p> <table border="0"> <tr> <td>評価点</td> <td>100～80</td> <td>評価区分</td> <td>優</td> <td>可否判定</td> <td>「合格」(当該科目の単位を取得)</td> </tr> <tr> <td>評価点</td> <td>79～70</td> <td>評価区分</td> <td>良</td> <td>可否判定</td> <td>「合格」(当該科目の単位を取得)</td> </tr> <tr> <td>評価点</td> <td>69～60</td> <td>評価区分</td> <td>可</td> <td>可否判定</td> <td>「合格」(当該科目の単位を取得)</td> </tr> <tr> <td>評価点</td> <td>59～0</td> <td>評価区分</td> <td>不可</td> <td>可否判定</td> <td>「不合格」</td> </tr> </table> <p>【公開について】</p> <p>成績評価方法については、シラバスに明記するほか、入学時オリエンテーションで学生に周知している。また考查の直前の授業時にも各授業科目の担当講師より説明・周知を行っている。</p>		評価点	100～80	評価区分	優	可否判定	「合格」(当該科目の単位を取得)	評価点	79～70	評価区分	良	可否判定	「合格」(当該科目の単位を取得)	評価点	69～60	評価区分	可	可否判定	「合格」(当該科目の単位を取得)	評価点	59～0	評価区分	不可	可否判定	「不合格」
評価点	100～80	評価区分	優	可否判定	「合格」(当該科目の単位を取得)																				
評価点	79～70	評価区分	良	可否判定	「合格」(当該科目の単位を取得)																				
評価点	69～60	評価区分	可	可否判定	「合格」(当該科目の単位を取得)																				
評価点	59～0	評価区分	不可	可否判定	「不合格」																				
<p>客観的な指標の算出方法の公表方法</p>	<p>ホームページで教育情報として一般に公開 https://kokufuku.ac.jp</p>																								

<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要) 履修コースによって介護福祉士養成課程および社会福祉主事養成課程（併修）の規定時間数を修め、全ての科目の考査に合格し、卒業試験を合格した者を卒業とする。</p> <p>【卒業要件】 卒業には、次の条件を全て満たすことが必要です。 ①成績評価及び卒業試験の成績に基づいて、課程修了の認定を得た者 ②所定の修業年限以上在学し、課程修了を認められた者 ③職業人として社会での役割を果たせる能力・人間的特性をもっていること ③所定の学費を完納していること</p> <p>今後、ディプロマポリシーを策定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>ホームページで教育情報として一般に公開 https://kokufuku.ac.jp</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	専門学校 新国際福祉カレッジ
設置者名	学校法人 阿弥陀寺教育学園

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	最新情報をHPにて公表している。 https://kokufuku.ac.jp
収支計算書又は損益計算書	最新情報をHPにて公表している。 https://kokufuku.ac.jp
財産目録	最新情報をHPにて公表している。 https://kokufuku.ac.jp
事業報告書	最新情報をHPにて公表している。 https://kokufuku.ac.jp
監事による監査報告（書）	最新情報をHPにて公表している。 https://kokufuku.ac.jp

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
教育・社会福祉分野	社会福祉専門課程	介護福祉学科（現場実践コース）	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
	昼	1,926 単位時間/単位	講義	演習	
2年			実習	実験	
			実技		
			1,926 単位時間/単位		
分野	課程名	学科名	専門士	高度専門士	
教育・社会福祉分野	社会福祉専門課程	介護福祉学科（社会福祉主事併修コース）	○		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	開設している授業の種類		
	昼	2,322 単位時間/単位	講義	演習	
2年			実習	実験	
			実技		
			2,322 単位時間/単位		
生徒総定員数	生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数
80人	70人	54人	4人	14人	18人

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
（概要）第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
成績評価の基準・方法
（概要）第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
卒業・進級の認定基準
（概要）第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照
学修支援等
（概要）第2号の3【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】の1.を参照

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
30人 (100%)	0人 (0%)	28人 (93.3%)	2人 (6.8%)
（主な就職、業界等）介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、母子生活支援施設、居宅サービス事業所			
（就職指導内容） 履歴書添削指導や面接対策指導をはじめとした基礎指導の実施や連携施設でのアルバイト等により、卒業後の進路に対応するように幅広く指導。			
（主な学修成果（資格・検定等）） 介護福祉士国家試験合格、社会福祉主事任用資格の取得に向けて2年間を通じたの指導。			
（備考）（任意記載事項）千葉県離職者等再就職訓練長期高度人材育成コースの受託、千葉県留学生受入プログラム参加			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
62人	1人	1.6%

(中途退学の主な理由) 進路変更		
(中退防止・中退者支援のための取組) 個別カウンセリングの実施等		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
介護福祉学科 (現場実践コース)	150,000 円	770,000 円	110,000 円	
介護福祉学科(社会福祉主事併修コース)	150,000 円	770,000 円	135,000 円	実習費が [※] +25,000 円
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 令和4年度の自己評価の結果について、学校HPで公開している。 「自己点検評価結果」 https://kokufuku.ac.jp		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)		
学校関係者として、有識者、非常勤講師、実習受入施設関係者などを含む学校関係者評価委員会を組織し、それぞれの知見を活かして教育目標、学校運営、教育活動等について評価を行っている。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
専修学校教員 (他法人校専任教員)	2022. 4. 1～2025. 3. 31	福祉教育有識者 本校非常勤講師
社会福祉法人職員 (特別養護老人ホーム施設マネジメント課長補佐)	2022. 4. 1～2025. 3. 31	介護福祉士実習指導者 介護認定審査会委員
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) 令和4年度の学校関係者評価の結果について、学校HPで公開している。 「自己点検評価結果」 https://kokufuku.ac.jp		

第三者による学校評価（任意記載事項）

令和6年度以降、評価機関による学校第三者評価の体制を整備する方針である。

c) 当該学校に係る情報

（ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法）

<https://kokufuku.ac.jp>